

## 中学部修学旅行終わる 思い出に残る修学旅行

8月29日から9月1日まで3泊4日で中学部生徒がチェコ共和国の首都プラハへ修学旅行に行ってきました。授業で学んだことや事前学習で調べたことを実地研修してきました。現在私たちの住むドバイと違って緑豊かで多くの歴史的建物も残る素晴らしい都市で歴史や芸術にも触れることができました。



1日目の市内巡りでは雨に降られてたいへんでしたがプラハ城やカレル橋。ヴィート教会など本でしか見たことのない歴史的遺産を見ることができました。

2日目はガラスの絵付け体験や国立絵画館でミュシャのスラブ叙事詩の大作をこの目で直接見ることもできました。この絵はこの後日本に貸し出されるようです。グッドタイミングで日本の皆さんより一足早く見ることができました。また、ブルタバ川のクルーズや教会でのクラシック音楽もとてもよかったです。音楽の中には児童生徒の皆さんの知っている曲目もあったと思います。なんといってもパイプオルガンの音色がとても印象に残りました。



3日目は現地の学校の夏休み最後の日ということで交通渋滞に巻き込まれてプラハ日本人学校との交流に少し遅れましたが、プラハの生徒の発表も本校の生徒の発表もとても落ち着いて堂々と発表できて素晴らしかった。ドバイの民族衣装の紹介には感嘆の声が上がりま



した。プラハの生徒たちともすぐに打ち解けて班別研修ができたと思います。その後の本校の自主研修も時間がゆっくり取れて買い物等できたのではないかと思います。



4日目、最終日は戦争の攻撃で一夜にして村が消えてしまったリディツェを見学しました。平和と人権について考えさせられました。

今年の修学旅行は1日目が雨で風邪などひく生徒が出ないかと心配しましたが病人も出ず安心しました。2日目以降は日中は22度前後の気温と青空の中でとても気持ちよく日程をこなすことができました。



夜遅く（深夜）にドバイ空港に帰ってきて暑さを感じた途端、我に返ったような気がしました。保護者の皆様には早朝と深夜の送迎をありがとうございました。

生徒たちは若いとはいえ、疲れがあったと思います。週明けの4日にみんな元気に登校できたことをうれしく思いました。

4日間の修学旅行、生徒たちは親元を離れて友達同士でいろんな経験をしたと思います。これらの経験を今後の生活や学習に活かしてほしいと思います。

## 日本人会のご案内と加入のお願い

本年度日本人会への加入につきまして全校配信でお願いさせていただきました。又本校ホームページにも掲載しております。

この度、日本人会のご案内につきまして規則・入会届フォーム等本校のホームページにも掲載いたしましたのでご利用ください。（今までどおり在ドバイ総領事館のホームページにも掲載されております）

来年度（2017年度）より学校規則が改訂され、入学・編入学していただく児童生徒の保護者の皆様には日本人会に加入されていることが条件となりますのでご理解くださいますようお願いいたします。

## 本の寄贈がありました 公益財団法人 理想教育財団より

この度40冊の本の寄贈をいただきました。『こぎつね・コンチ』や『たのしいムーミン一家』、『窓ぎわのトットちゃん』、『クリスマス・キャロル』など小学部低学年用から中学部向きの本まであります。登録次第10月から図書室におきますので児童生徒の皆さん是非、手に取って見てください。

